

【お願い】

当参考資料ならびに掲載のスク립ト例等は、製品に附帯する技術的な御参考の資料として提供させていただいています。記載内容の動作確認等は、作成時点の最新版での組み合わせにて実施しておりますが、任意の組み合わせでの動作を保証するものではありません。したがって、組み合わせ等により修正等が生じる場合がございますので、御了承のほどよろしくお願いいたします。

## アシスト社「ダブルブラウザソリューション」自動判別オプション におけるグループポリシーの活用について

～「KOTOMINE」のグループポリシー構成について「Windows 8.1 / 10 環境」編～

### はじめに

本書ではアシスト社「ダブルブラウザソリューション」自動判別オプション「KOTOMINE」適用に際し、アシスト社提供の連携キット（ClickOnce 配布）活用時、管理者権限（UAC: User Account Control）が必要となる IE アドオンならびに「Google Chrome」Chrome 拡張（Chrome extensions）／「Microsoft Edge」Edge 拡張（Edge extension）の導入・構成、IE「既定の Web ブラウザー」設定関連、Windows 8.1/10 環境下での「既定のプログラムの設定」にかかわるグループポリシー活用の構成・制御例について示す。

### 1. 連携キット（ClickOnce 配布）による場合の自動判別オプションの IE アドオンモジュールと Chrome／Edge 拡張 モジュールの追加登録（スタートアップスクリプトの活用）

アシスト社提供の連携キット（ClickOnce 配布）状況下での管理者権限（UAC: User Account Control）が必要となる IE アドオンと Chrome／Edge 拡張の導入スクリプトファイルをグループポリシーのスタートアップに登録する<sup>1</sup>

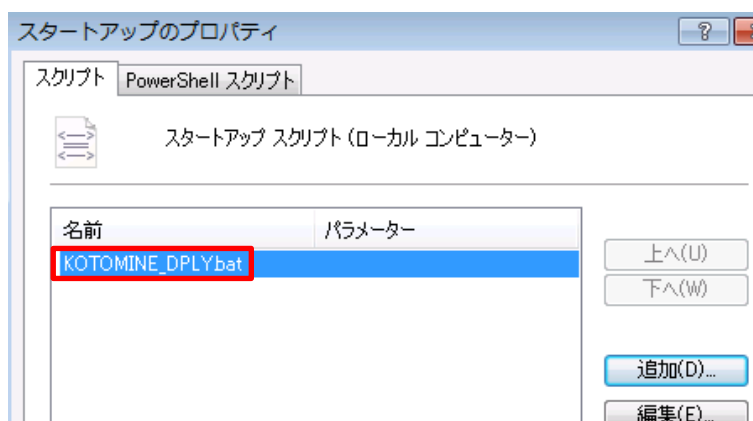


図 1 スタートアップへの登録（例）

<sup>1</sup> スタートアップ、シャットダウン、ログオン、およびログオフのスクリプトを使用する  
[https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc753404\(v=ws.11\).aspx](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc753404(v=ws.11).aspx)

## 構成方法

グループポリシーエディタ 4 より、「コンピューターの構成」(「ポリシー」(グループポリシーの管理エディタの場合))「Windows の設定」「スクリプト (スタートアップ/シャットダウン)」「スタートアップ」を開き、「追加」より、対象のスクリプトファイルを登録する。

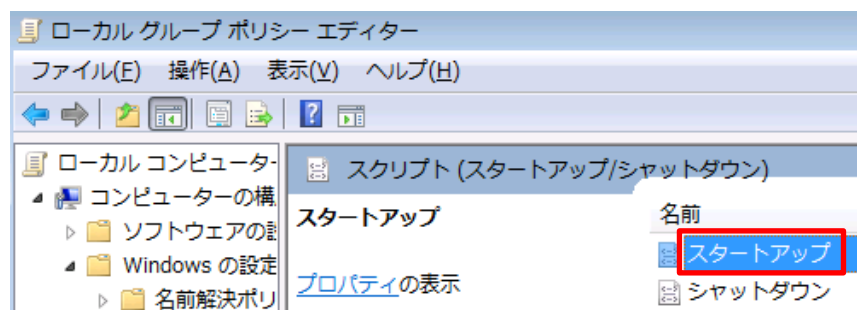


図 2 ローカルグループポリシーエディター「スクリプト (スタートアップ/シャットダウン)」「スタートアップ」

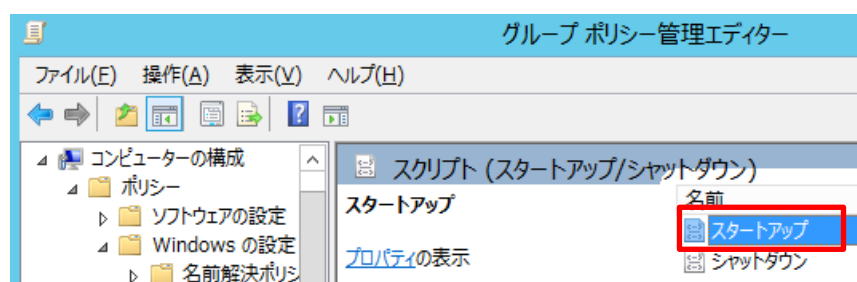


図 3 グループポリシー管理エディター「スクリプト (スタートアップ/シャットダウン)」「スタートアップ」

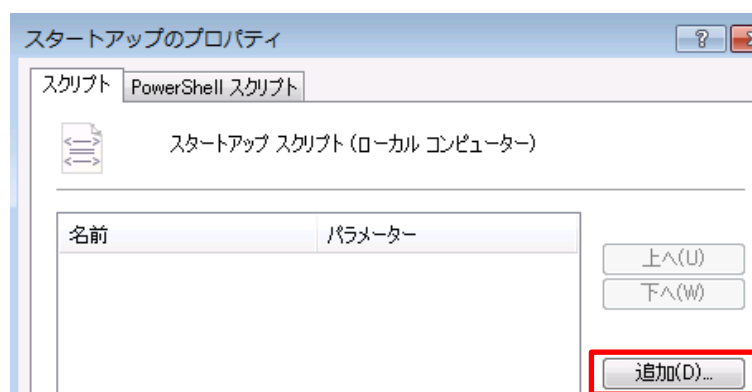


図 4 「スタートアップ」への登録 (その 1)



図 5 「スタートアップ」への登録（その2）（例）

表 1 「スタートアップ」への登録スクリプト例（KOTOMINE\_DPLY.bat）

```
@echo off
REM.
REM =====
REM 「KOTOMINE」BHO(IE Add-ons) / Edge 拡張 / Chrome 拡張のスタートアップからの登録例
REM =====
REM.

REM ----- 導入状況の確認 -----
set KTMN_DS=
REM ----- For BHO(IE Add-ons) -----
reg query HKCR¥ID.BrowserLauncher 2>NUL | find /I "Kotomine.BrowserLauncherAddon" >NUL 2>&1
@if NOT %ERRORLEVEL% == 0 set KTMN_DS=BHO
REM ----- For Edge extensions -----
reg query HKLM¥SOFTWARE¥Policies¥Microsoft¥Edge¥ExtensionInstallForcelist 2>NUL | find /I
"cmpeojohmnlbifhnhjhpdpaghlpehilm" >NUL 2>&1
@if NOT %ERRORLEVEL% == 0 set KTMN_DS=%KTMN_DS%EdgeExt
@if "%KTMN_DS%" == "" exit
REM ----- For Chrome extensions -----
reg query HKLM¥SOFTWARE¥Policies¥Google¥Chrome¥ExtensionInstallForcelist 2>NUL | find /I
"cmpeojohmnlbifhnhjhpdpaghlpehilm" >NUL 2>&1
@if NOT %ERRORLEVEL% == 0 set KTMN_DS=%KTMN_DS%ChromeExt
@if "%KTMN_DS%" == "" exit

REM ----- インストーラーの確認 -----
set KTMN_WBLPath=
set KTMN_WBPath=contents¥KOTOMINE
set KTMN_BL=BrowserLauncher.exe
REM set KTMN_BLOP=-registerAll -forceAddonInstall -registerEdgeExt -registerEdgeHost -registerChromeExt -
registerChromeHost -registerFirefoxExt -registerFirefoxHost
set KTMN_BLOP=-registerAddon -forceAddonInstall -registerEdgeExt -registerChromeExt
```

```

REM ---- For MSI ----
set KTMN_WBLPath=%ProgramFiles%¥ashisuto¥WBrowser Launcher
@if DEFINED ProgramFiles(x86) set KTMN_WBLPath=%ProgramFiles(x86)%¥ashisuto¥WBrowser Launcher
@if EXIST "%KTMN_WBLPath%¥%KTMN_WBPath%¥%KTMN_BL%" (
    cd /D "%KTMN_WBLPath%¥%KTMN_WBPath%"
    %KTMN_BL% %KTMN_BLOP%
    REM exit
)

REM ---- For Click Once ----
FOR /f "tokens=7 delims=¥" %%l in (
    'reg query "HKLM¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥ProfileList" ^| find "S-1-5-21" '
) DO FOR /f "TOKENS=1,2,*" %%j in (
    'reg query "HKLM¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥ProfileList¥%%l" /v ProfileImagePath'
) DO (
    IF NOT "%%L"==" IF EXIST %%L¥NTUSER.DAT (
        reg load "HKU¥%%l" "%%L¥NTUSER.DAT" >NUL 2>&1

REM ---- For Click Once (Ashisuto WBrowserLauncher) ----
    FOR /F "TOKENS=1,2,*" %%A IN (
        'reg query "HKU¥%%l¥Software¥Ashisuto¥WBrowserLauncher" /v "InstallDir" 2^>NUL'
    ) DO IF "%%A"=="InstallDir" (
        IF EXIST "%C¥%KTMN_WBPath%¥%KTMN_BL%" (
            cd /D "%C¥%KTMN_WBPath%"
            %KTMN_BL% %KTMN_BLOP%
            reg unload "HKU¥%%l" >NUL 2>&1
            REM exit
        )
    )

REM ---- For Click Once with Registered KOTOMINE BrowserLauncher ----
    FOR /F "TOKENS=1,2,*" %%A IN (
        'reg query "HKU¥%%l¥Software¥ID¥Kotomine" /v "AppPath" 2^>NUL'
    ) DO (
        IF EXIST "%C" (
            cd /D "%~dpC"
            %KTMN_BL% %KTMN_BLOP%

```

```

reg unload "HKU¥%%%" >NUL 2>&1
REM exit
)
)

reg unload "HKU¥%%%" >NUL 2>&1
)
)
)

```

## 2. IE アドオンの利用側設定変更ならびに通知の無効化

Internet Explorer 11 の「インターネット オプション」「アドオンの管理」もしくは「プログラム」タブ「アドオンの管理」項目 に登録の「ダブルブラウザソリューション」連携キット 自動判別オプションの IE アドオン モジュールの設定変更をグループポリシーで無効にし、モジュールの削除・無効化等を抑止する<sup>2</sup>

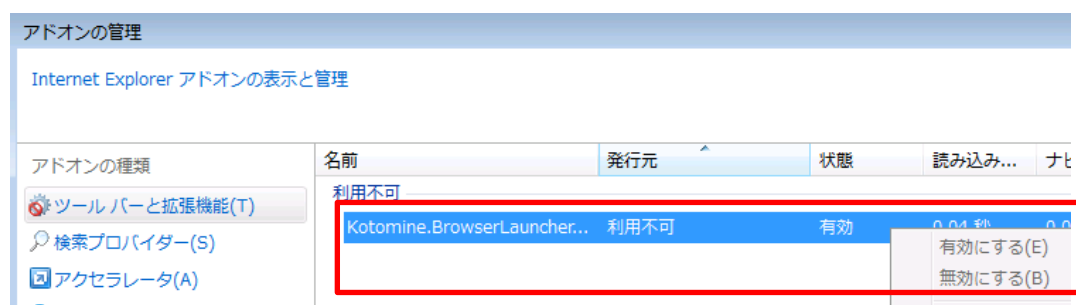


図 6 連携キット 自動判別オプションの IE アドオン モジュールの設定変更の無効化

### 構成方法

グループポリシーエディタ<sup>4</sup>より、「コンピューターの構成」（「ポリシー」（グループポリシーの管理エディターの場合））「管理用テンプレート」「Windows コンポーネント」「Internet Explorer」「セキュリティの制御」「アドオン管理」「アドオンの一覧」を開き「有効」を選択後、「オプション」「表示するコンテンツ」へ、有効とするアドオンの CLSID（{C9927373-84A3-4164-B219-79EB6FC98B14}（Kotomine.BrowserLauncherAddon））を「値の名前」に登録し、その「値」を「1」とする。

<sup>2</sup> 管理用テンプレートとグループ ポリシーを使用したアドオンの有効化と無効化

<https://technet.microsoft.com/ja-jp/itpro/internet-explorer/ie11-deploy-guide/enable-and-disable-add-ons-using-administrative-templates-and-group-policy#clsid-%E3%81%A8%E7%AE%A1%E7%90%86%E7%94%A8%E3%83%86%E3%83%B3%E3%83%97%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%88%E3%82%92%E4%BD%BF%E7%94%A8%E3%81%97%E3%81%9F%E3%82%B0%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%97-%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC-%E3%82%AA%E3%83%96%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%AF%E3%83%88%E3%81%AE%E7%AE%A1%E7%90%86>

Enable and disable add-ons using administrative templates and group policy

<https://technet.microsoft.com/en-us/itpro/internet-explorer/ie11-deploy-guide/enable-and-disable-add-ons-using-administrative-templates-and-group-policy>

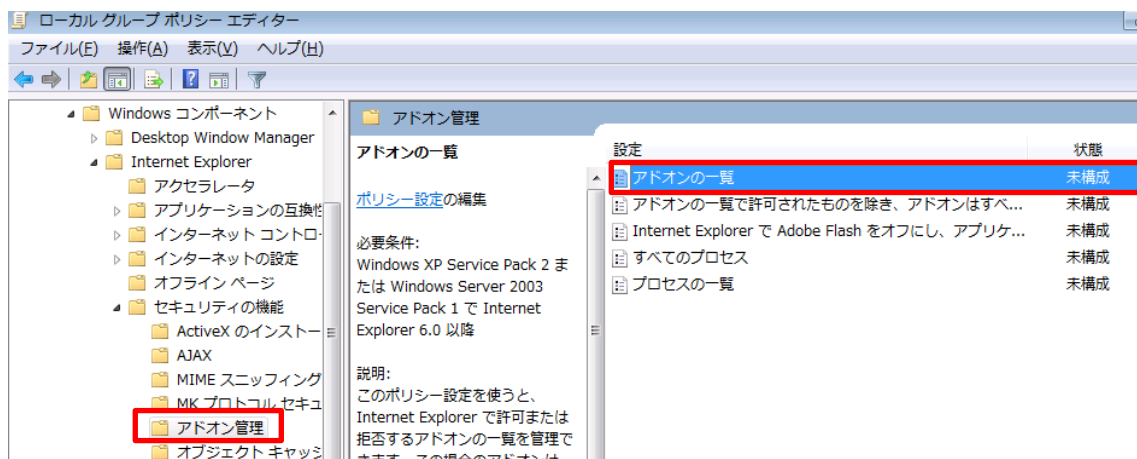


図 7 ローカルグループポリシーエディター「Internet Explorer」「セキュリティの制御」「アドオン管理」「アドオンの一覧」

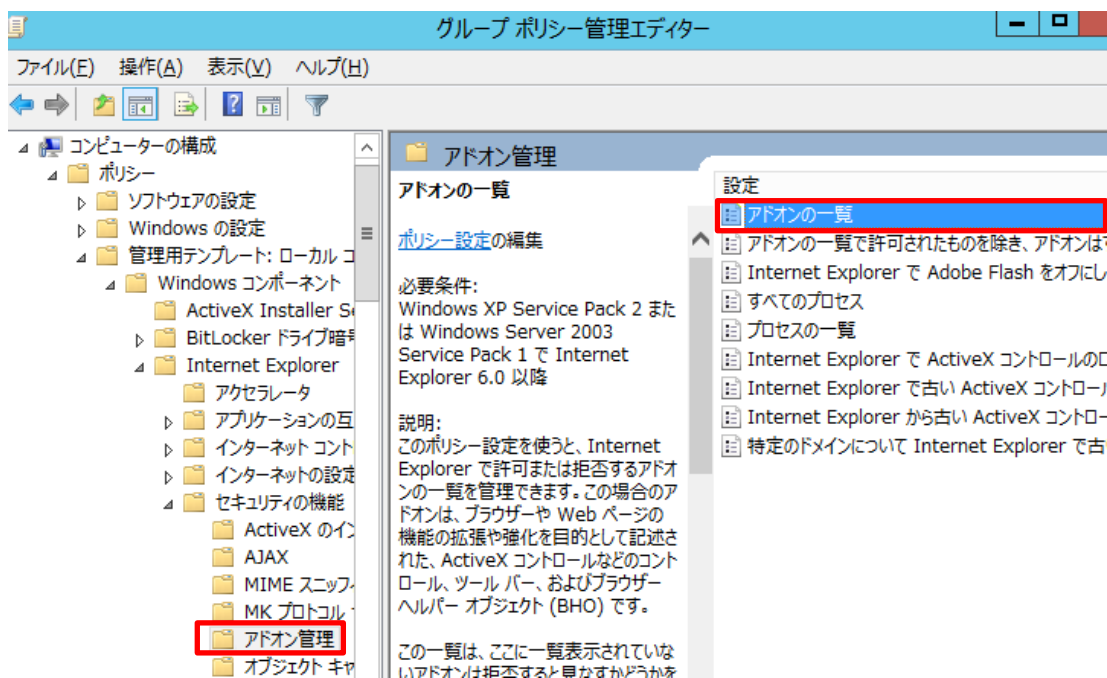


図 8 グループポリシー管理エディター「Internet Explorer」「セキュリティの制御」「アドオン管理」「アドオンの一覧」

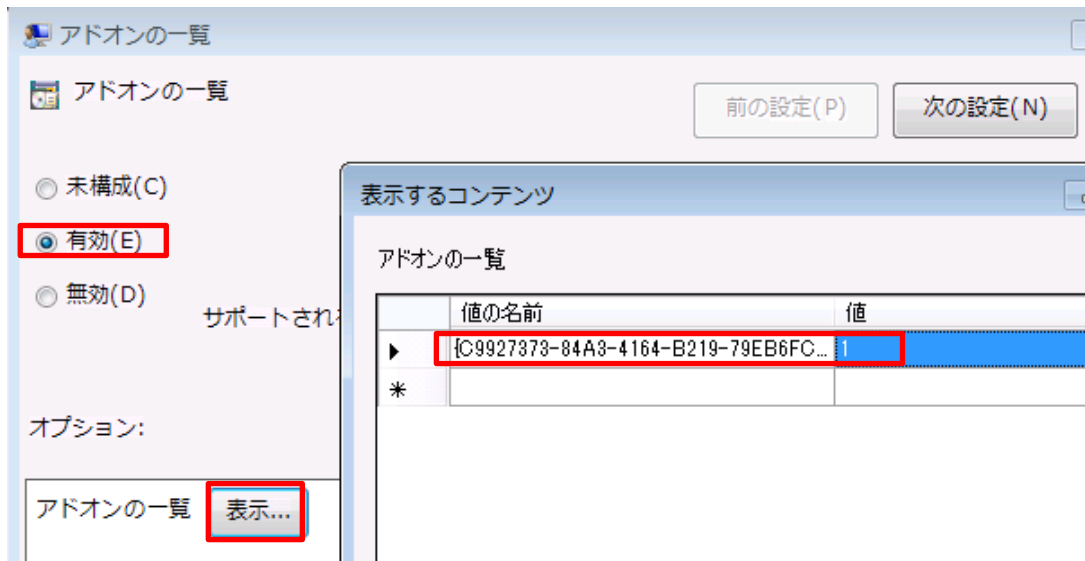


図 9 有効とするアドオンの CLSID 登録 (例) ({C9927373-84A3-4164-B219-79EB6FC98B14})

### 3. Internet Explorer 11 でのデフォルトブラウザの通知無効化

Internet Explorer 11 の「インターネット オプション」「プログラム」タブ「既定の Web ブラウザー」の項目設定をグループポリシーで無効にする<sup>3</sup>



図 10 「既定の Web ブラウザー」の項目設定の無効化

#### 構成方法

グループポリシーエディタ<sup>4</sup>より、「ユーザーの構成」(「ポリシー」(グループポリシーの管理エディタの場合))「管理用テンプレート」「Windows コンポーネント」「Internet Explorer」「Internet Explorer が既定の Web ブラウザーでない場合にユーザーに通知する」を開き、「無効」とする。

<sup>3</sup> グループポリシーで IE を“既定のブラウザ”として設定する方法

<https://blogs.technet.microsoft.com/jpieblog/2016/05/20/%E3%82%B0%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%97%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC%E3%81%A7-ie-%E3%82%92-%E6%97%A2%E5%AE%9A%E3%81%AE%E3%83%96%E3%83%A9%E3%82%A6%E3%82%B6-%E3%81%A8%E3%81%97/>

グループ ポリシーと Internet Explorer 11 (IE11)

<https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt269904.aspx>

<sup>4</sup> ローカルグループポリシーエディター (gpedit.msc) もしくは Active Directory のグループポリシー管理エディター (GPO) 適用を想定

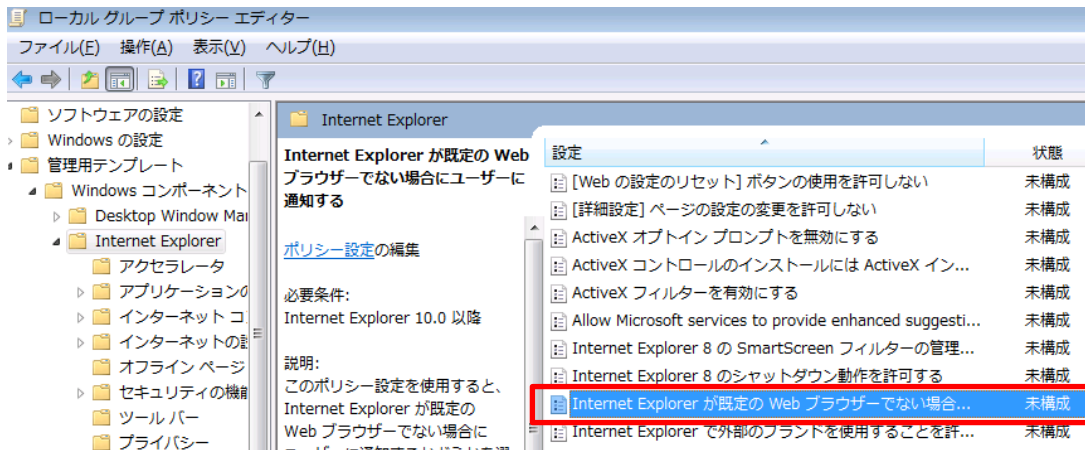


図 11 ローカルグループポリシーエディター「Internet Explorer が既定の Web ブラウザーでない場合にユーザーに通知する」

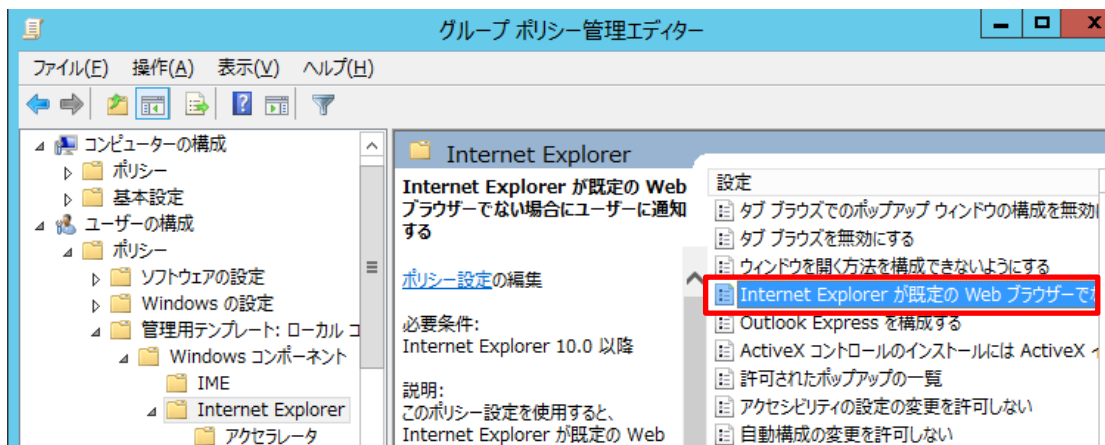


図 12 グループポリシー管理エディター「Internet Explorer が既定の Web ブラウザーでない場合にユーザーに通知する」

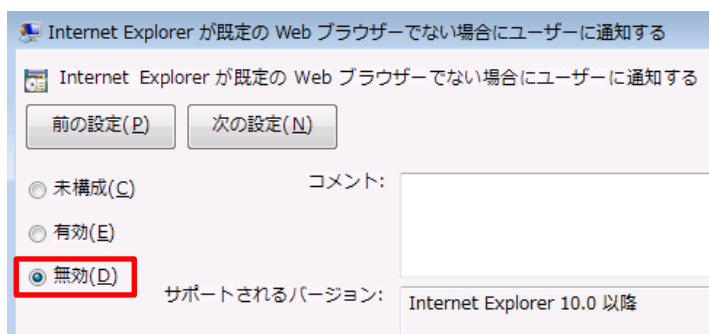


図 13 「Internet Explorer が既定の Web ブラウザーでない場合にユーザーに通知する」項 構成箇所

#### 4. プロトコル http / https の「既定のアプリ」登録の再構成

Windows8.1 / 10 上で「既定のアプリ」の設定等により変更されたプロトコル http / https の「既定のアプリ」設定をログイン時に再構成する為、Active Directory ドメインのグループポリシー「既定の関連付



け構成ファイルの設定」への構成ファイルを登録・構成する<sup>3 5</sup>

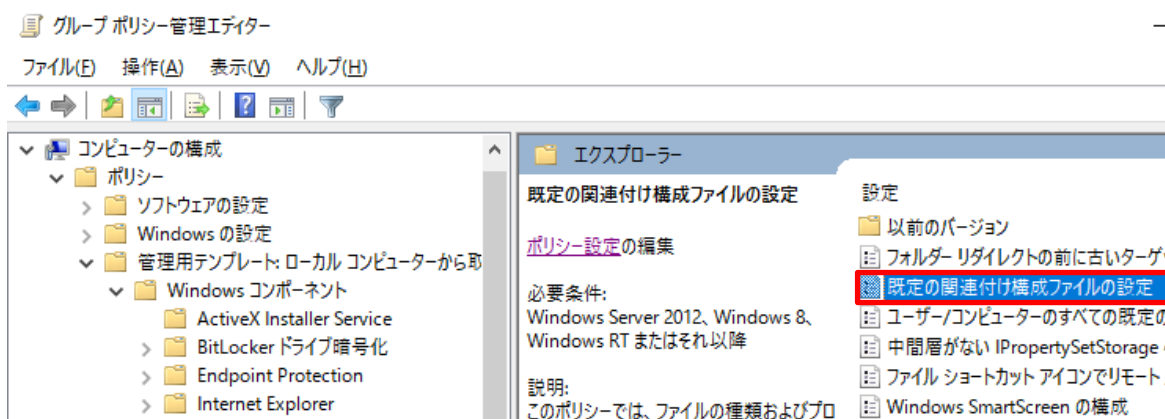


図 14 グループポリシー管理エディター「エクスプローラー」「既定の関連付け構成ファイルの設定」

## 構成方法

グループポリシーの管理エディターより、「コンピューターの構成」「ポリシー」「管理用テンプレート」「Windows コンポーネント」「エクスプローラー」「既定の関連付け構成ファイルの設定」を開き「有効」を選択後、「オプション」「既定の関連付け構成ファイル」へ構成ファイルの UNC 形式のパス (e.g. \\¥¥「共有サーバ名」¥「共有フォルダ名」¥KTMN\_DefaultAssociations.xml) を登録する。

ここで、構成ファイルはポリシー配布先の PC ならびに利用者からアクセス可能な共有フォルダ配置となっている必要がある。PC へのポリシー配布・再起動後、構成内容は有効・適用となる。



図 15 「オプション」「既定の関連付け構成ファイル」への登録

表 2 「既定の関連付け構成ファイルの設定」への登録構成ファイル例 (KTMN\_DefaultAssociations.xml)

<pre>&lt;?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?&gt; &lt;DefaultAssociations&gt;   &lt;Association Identifier="http" ProgId="ID.Kotomine.BrowserLauncherURL" ApplicationName="BrowserLauncher" /&gt; &lt;/DefaultAssociations&gt;</pre>
--

<sup>5</sup> グループ ポリシーを使用して既定のブラウザーを設定する  
<https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt269907.aspx>

```
<Association Identifier="https" ProgId="ID.Kotomine.BrowserLauncherURL" ApplicationName="BrowserLauncher" />  
</DefaultAssociations>
```

以上。